Nagakute City

長久手市 防災マップ

Disaster prevention map

もしものために！ いざという時のための備え

2026年3月版

わが家の防災メモ

119番 火事・救急　110番 警察　171番 災害用伝言ダイヤル

家族・知人等の連絡先

氏名	連絡先（家族は勤務先・学校など）	電話	携帯電話

避難所

避難所		家族が離れ離れになったときの集合場所	

防災関係機関

愛知警察署	39-0110	中部電力ＰＧ（株）旭名東営業所	0120-929-265
瀬戸保健所	82-2196	東邦ガス（株）緊急保安センター	052-872-9238
愛知県尾張建設事務所	052-961-7211	ＮＴＴ西日本故障受付（携帯電話からかける場合）	113（0120-444-113）
愛知中部水道企業団	38-0030		

災害関連情報が入手できるホームページ一覧

長久手市公式ホームページ
避難所開設情報など
https://www.city.nagakute.lg.jp/index.html

気象庁
気象情報、台風情報、地震情報など
https://www.jma.go.jp/jma/index.html

愛知県防災Web 愛知県内の災害情報など
https://www-bousai1.kenbousai-cloud.pref.aichi.jp/pub_web/portal-top/

愛知県土砂災害防災情報
土砂災害警戒情報、土砂災害危険度情報など
https://www.sabo.pref.aichi.jp/

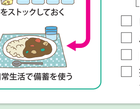
愛知県 川の防災情報
雨量情報、水位情報など
https://www.river.go.jp/index（国土交通省）
https://www.kasen-aichi.jp/（愛知県）

災害時の避難情報を入手!!

登録方法・詳細はこちら

早くて正確!! 安心メール+

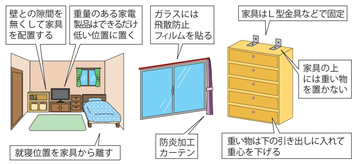
様々な情報入手手段がありますが、市からいち早く正確な災害情報が手元に届く『安心メール+』を登録しましょう。

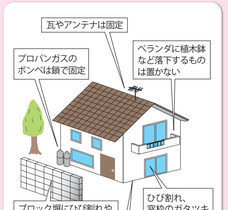


❶

地震への備え

家の内外の安全対策





- 寝室、子どもや高齢者のいる部屋に家具を置かない
- 安全に避難できるよう、部屋の出入り口付近には背の高い家具は置かない
- 家具は凶器となるため、安全対策をしっかりと行う
- 家具が人に倒れないような配置にする

地震が発生したら

【地震発生】
❶地震だ！ まずは自分や家族の身の安全
【地震直後】
自宅の状況確認
（倒壊、破損、近隣の火災、土砂災害など）
❷落ち着いて火の元確認、初期消火
❸確認しよう隣の安否
❹非常持出袋を手に持って
❺避難の前にブレーカーOFF
❻門や塀には近寄らない

一時避難場所（近くの公園）

地域での助け合い！

自宅に被害はある？

自宅に被害なし（自宅で生活できる）

自宅へ
在宅避難ができるよう、水・食料・携帯トイレなどの備蓄や家具の転倒防止対策を進めましょう。

自宅に被害あり（自宅で生活できない）

安全な親戚・知人宅へ

又は

避難所へ
避難所の運営は、避難者も含めた地域住民で協力して行いましょう！

❷

震度と揺れ

震度4	震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
ほとんどの人が驚く	大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる	大半の人が物につかまらないと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	揺れに翻弄され、這わないと歩くことができない。飛ばされることもある。	揺れに翻弄され自分の意志で行動できない。ほとんどの家具は大きく転倒する。

地震への備え

▶南海トラフ巨大地震とはどのような地震ですか？

科学的に想定されている最大クラスの南海トラフ地震を「南海トラフ巨大地震」と呼んでいます。

この地震では、右図のオレンジ色の領域全体が震源域*となり、地震の規模（マグニチュード）は９程度となります。太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波が襲来するほか、広い範囲で強い揺れが２～３分程度続き、最大震度は７と想定されています。

南海トラフ巨大地震の想定は、政府の中央防災会議が実施しています。上記の想定は南海トラフ地震の一つのケースとして整理されたものであり、実際にこの想定どおりの揺れや津波が発生するとは限りませんが、このような揺れや津波が起こっても耐えうるよう、日頃からの地震への備えが重要です。

※震源域とは、地震により地下の岩盤にずれ（破壊）が生じる領域で、面的な広がりを持っています。震源域が海域に及ぶと、津波が発生する可能性があります。

（参考：大阪管区気象台「地震と南海トラフの基礎知識」）

南海トラフ地震臨時情報とは

時間差で発生する巨大地震に備えましょう

・南海トラフ地震が発生する可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報です。
・国や市などからの呼びかけ等に応じた、防災対応をとりましょう。
※この臨時情報が発表されたからといって、必ず大規模地震が起こるという訳ではありません。

発生

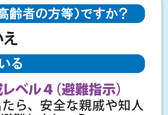
南海トラフ地震臨時情報（調査中）
南海トラフ地震の想定震源域内でM6.8以上の地震が起こった場合などに発表されます。

「調査中」の発表から 最短２時間後 に次のいずれかの情報が発表されます

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）
警戒措置
■地震発生後の避難では津波からの避難が間に合わない可能性のある住民は「事前避難」※
※長久手市には事前避難の対象地域はありません。
国からの呼びかけ等に従って行動を

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）
注意措置
■日頃からの地震への備えを再確認
■地震が発生したらすぐ避難する準備

南海トラフ地震臨時情報（調査終了）
■通常の生活を送る



発生後2時間～1週間

注意措置（警戒措置は解除）
■日頃からの地震への備えを再確認
■地震が発生したらすぐ避難する準備

1週間～2週間

通常の生活を送るとは…
特別な防災対応は必要ありませんが、地震はいつ起きるか分からないため、この臨時情報の発表の有無などに関わらず、普段から地震への備えをしておくことが大事です。

2週間～1週間後

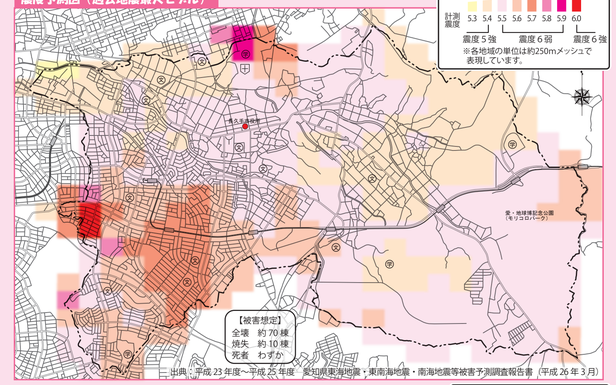
■通常の生活を送る

南海トラフ地震臨時情報の詳細は下記の二次元コードから確認

❸

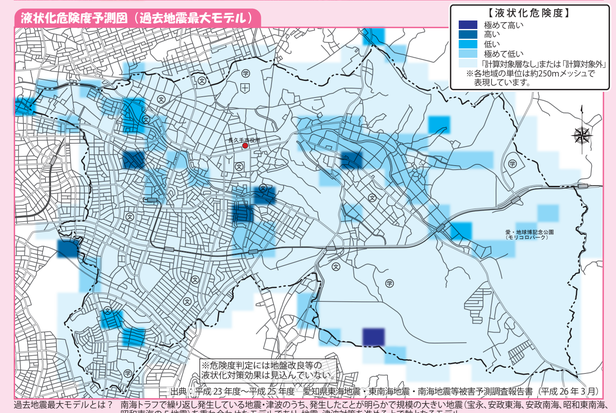
南海トラフ地震

震度予測図（過去地震最大モデル）



出典：平成23年度～平成25年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書（平成26年3月）

液状化危険度予測図（過去地震最大モデル）



出典：平成23年度～平成25年度 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査報告書（平成26年3月）

過去地震最大モデルとは？ 南海トラフで繰り返し発生している地震・津波のうち、発生したことが明らかで規模の大きい地震（宝永、安政東海、安政南海、昭和東南海、昭和南海の５地震）を重ね合わせたモデルであり、地震・津波対策を進める上で軸となるモデル。

❹

災害への備え

非常持出品と非常備蓄品

非常持出品

避難するときに最初に持ち出す必要最小限のものです。

非常持出袋 に入れて、玄関などのすぐに取り出せるところに保管しましょう。

貴重品	防災用品	医療用品
□現金［公衆電話用の10円玉・100円玉］	□懐中電灯・ろうそく	□常用している薬
□預金通帳※	□携帯ラジオ	□おくすり手帳
□印かん	□ヘルメット	□ばんそうこう
□運転免許証・カード類※	□笛（ホイッスル）［身動きができない時に使用］	□マスク
□権利証書※	□軍手	□手指消毒液
□資格確認書※		□ティッシュペーパー
※日頃はコピーを入れておき、余裕があれば持ち出す。		□ウェットティッシュ
		□体温計

非常食	衣類関係	その他の生活用品
□飲料水	□上着・下着	□携帯電話の充電器やモバイルバッテリー
□乾パンやクラッカーなど	□くつ下	□予備の眼鏡・補聴器など
□レトルト食品・缶詰	□タオル	□簡易（携帯）トイレ
□調味料	□レインコート（防寒も兼ねる）	□トイレットペーパー
□はし・スプーン・缶切り・ナイフなど	□毛布・寝袋	□歯ブラシ
□粉ミルク・ほ乳瓶		□生理用品・紙おむつ

●非常持出品とは別に、枕元には笛（ホイッスル）や懐中電灯、靴（スリッパ）などを備えておきましょう。

非常備蓄品

災害復旧までの１週間程度を過ごすためのものです。

水の備蓄の目安 1人1日3リットル

非常食	燃料	その他の生活用品
□飲料水［1人1日3リットル］	□マッチ・ライター	□生活用水［風呂や洗濯機に水をためておく］
□乾パンやクラッカーなど	□電池	□ポリタンク
□レトルト食品・缶詰	□カセットコンロ	□なべ・やかん
□アルファ米	□カセットボンベ	□毛布・寝袋
□インスタント食品	□固形燃料	□洗面用具
□栄養補助食品		□バケツ
□チョコレート・アメなどの		□簡易（携帯）トイレ
□お菓子類		□トイレットペーパー
□調味料		□使い捨てカイロ
		□ドライシャンプー
		□新聞紙
		□ビニールシート
		□布製ガムテープ
		□キッチン用ラップ［食器に貼って使用すれば食器を洗わずに済むほか、防寒・包帯など様々な用途に応用できる］
		□ロープ
		□バール・スコップ
		□自転車
		□携帯電話の充電器やモバイルバッテリー

●必要な物は人によって異なります。必要に応じて項目を加えたり、定期的に中身の点検を行いましょう。

ローリングストック法
いざという時の賞味期限切れを防いだり、災害時も日常生活に近い食生活を送ることができます。

防災行政無線サイレン

防災行政無線とは？
緊急情報を伝える情報伝達手段の１つです。市役所にある「親局」からの電波を市内１０か所にある「屋外拡声子局」が受信し、サイレンや音声放送により避難指示などをお知らせします。

J-ALERT（ジェイ・アラート）とは？
緊急地震速報、弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、人工衛星を用いて国から情報が送信され、市の防災行政無線を自動起動させることにより、緊急情報を瞬時に伝達するシステムです。

音声放送を聞き漏らしたら？
サイレンは市全体に伝わりますが、音声放送は全戸に伝わるものではありません。
音声放送を聞き漏らしたり、よく聞こえなかったりした場合には、音声放送テレホンサービスで聞くことができます。
※音声放送が行われた場合のみのサービスであり、サイレンのみの場合にはこのサービスは行われません。

音声放送テレホンサービス
0120-63-7770 通話料無料 又は 0561-63-0300 有料

家具転倒防止
災害時における家具の転倒による被害を防止するため、タンス、食器棚、書棚、冷蔵庫、テレビなどに家具転倒防止器具の取り付けを行います。
問合せ先：長寿課　電話：0561-56-0631

住宅等の耐震対策
市では、地震発生時における住宅の倒壊等による災害を防止するため、市内の住宅（昭和５６年５月３１日以前に着工された旧耐震基準のもの）に対して耐震化支援を行っています。また、対象となるブロック塀等の撤去を実施する際、費用の一部を補助します。
問合せ先：都市計画課　電話：0561-56-0622

被災者生活再建支援金
国の被災者生活再建支援法が適用された場合、されない場合のいずれの場合においても、自然災害によって住宅に被害が生じた場合、支援金を支給します。
問合せ先：安心安全課　電話：0561-56-0611

「防災士」資格取得費用の助成
感震ブレーカー設置費用の補助
防災士助成のページ　感震ブレーカー補助のページ
問合せ先：安心安全課　電話：0561-56-0611

自主防災活動とは？

大規模な災害が発生すると、市内全域でけが人が出たり、倒壊家屋や火災などが同時多発的に発生し、市役所や消防署等による「**公助**」だけでは対応できず、皆さんの地域へすぐに駆けつけることが困難となります。
このため、被害の軽減を図るには次の役割が重要になります。

自助 自分の身は自分で守る

共助 地域や隣近所の人々が集まって、互いに助け合いながら防災活動に取り組む

自主防災倉庫及び貸与資機材（一例）

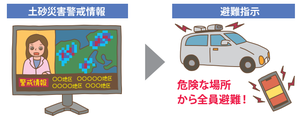
※長久手市では、一定の条件を設け、自主防災活動に積極的に取り組んでいただいた自治会（自主防災会）に、自主防災倉庫を貸与しているほか、災害時に必要な防災資機材も貸与しています。

❺ ❻

水害への備え

自分の身を守るために…早めの避難の心がけ

避難を開始するタイミングは次のような場合が考えられます。危険を察知したら身を守るよう、**自ら早めに避難しましょう！**



避難所への避難が困難な時は、頑丈な建物の２階以上で、**危険な斜面や崖から離れた場所**に避難してください。

水害のおそれがあるときは

安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません

ハザードマップを見て水害リスクの確認！

自宅のある場所は、土砂災害（特別）警戒区域や洪水浸水想定区域などの着色になっていますか？

□ はい
避難所・親せき（知人）宅への避難（水平避難）が必要です。
水平避難の他、建物の上の階などへの避難（垂直避難）も可能です。

□ いいえ
想定上は安全な区域です。ただし、想定外に備えて避難先を考えておきましょう。

避難所
安全に身を寄せられる親せき（知人）宅

避難のタイミングを確認！

あなたや一緒に避難する方は、避難に時間が必要な方（障がいがある方や高齢者の方等）ですか？

□ はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる

□ はい　**警戒レベル３（高齢者等避難）**が出たら、安全な親戚や知人宅へ避難しましょう
□ いいえ　**警戒レベル３（高齢者等避難）**が出たら、避難所へ避難しましょう

□ いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人がいる

□ はい　**警戒レベル４（避難指示）**が出たら、安全な親戚や知人宅へ避難しましょう
□ いいえ　**警戒レベル４（避難指示）**が出たら、避難所へ避難しましょう

❼

雨の降り方

1時間雨量	10~20ミリ やや強い雨	20~30ミリ 強い雨	30~50ミリ 激しい雨	50~80ミリ 非常に激しい雨	80ミリ~ 猛烈な雨
	地面からの跳返りで足下がぬれる	傘をさしていてもぬれる	道路が川のようになる	車の運転は危険	災害級の雨、外出は危険

大雨・洪水・土砂災害に関する警戒レベル

「自分の身は自分で守る」意識を持ち、自ら判断して避難行動しましょう

防災気象情報：注意報 → 警報 → 危険警報（令和８年出水期より運用） → 特別警報

警戒レベル	レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！	レベル5
出される情報	早期注意情報	大雨注意報や洪水注意報	高齢者等避難	避難指示		緊急安全確保
発信者	気象庁	気象庁	市	市		市
とるべき行動	最新情報に注意！	防災マップ等で避難方法を確認！	危険な場所から高齢者等は避難！	危険な場所から全員避難！		命を守るための最善の行動
	避難の必要性を意識！ (例) 気象情報の確認、非常持出品の確認	避難に備え、避難方法や避難所等を確認！ (例) 河川の状況や避難経路の確認	避難に時間を要する人は避難開始！その他の人も避難の準備！	避難所までの移動が危険な場合、自宅内のより安全な場所に避難！		既に災害が発生又は切迫している状況で命を守るための最善の行動をとってください
・いつ・誰が・何をを確認！	マイタイムライン（上記の行動を参考に、自分たちの行動を書き込みましょう。）					
	(例) 台風の予報が出たら、○○がテレビで気象情報を確認する	(例) 注意報が出たら、△△が家の周りを確認する	(例) 高齢者等避難が出たら、祖父母は避難を開始する	(例) 避難指示が出たら、家族全員が避難を完了する		

※必ずしも、この順番で発令されるとは限りません。

※防災気象情報の詳細は二次元コードから確認

❽